つながれ広がれNPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑬〉

特定非営利活動法人 イーハトーブ宇宙実践センター

「天体観察や宇宙科学に触れてもらうことを通して、その体験を実生活で生かせるような人材を育てたい」と語るのは、イーハトーブ宇宙実践センターの大江昌嗣理事長です。センターは、水沢区星ガ丘町にある奥州宇宙遊学館を拠点として、高校生を対象に電波望遠鏡を使って天文観測を体験するサイエンスメイト「Z星研究探検隊」などを実施しています。ことしは、市の0・4％（オーシュウ）支援事業として、天気・気象について年齢問わずに楽しめるイベントなどを行う「奥州お天気塾」を開催しています。

センターは平成16年4月、当時国立天文台の名誉教授である大江理事長を中心に、任意団体として設立。「天体観察や宇宙科学の指導、情報提供などをしてほしい」という科学に関心がある市民や、天文愛好者、理科教員などからの要望に応えたものでした。以後、天体観察や基礎科学への学習意欲を高めるための各種イベントを展開しています。

18年4月にはNPO法人格を取得。活動をより充実させました。その頃、国立天文台の水沢緯度観測所旧本館が奥州宇宙遊学館として整備され、同館の指定管理者が募集されました。センターの活動と遊学館の運営の目的がほぼ同じだったことから、自ら手を挙げ、20年4月から同館の指定管理者に。同館を運営しながら、活動の幅をさらに広げていきます。

その一つが「いわて銀河フェスタ」です。より多くの市民に宇宙科学の楽しさに知ってもらうため、国立天文台、市と共催で開催。ことし8月に第4回を数えた同フェスタには、約2000人にものぼる来場者が訪れました。多くの市民らが宇宙科学の魅力に触れ、会場には笑顔があふれていました。

子どもたちの理科離れ、科学離れが叫ばれて久しい現在、小さなときから理科や科学の魅力に触れ、楽しく学ぶことができる環境をつくることが大切です。センターは、子どもたちをはじめ、老若男女を問わず広く市民に宇宙科学を楽しんで学べるイベントを多数開催しています。ぜひご参加ください。

■イーハトーブ宇宙実践センター（奥州宇宙遊学館内☎㉔2020）

いわて銀河フェスタ 2011 のイベントの一つである小学生向けの実験教室

0.4％支援事業である奥州お天気塾

interview

イーハトーブ宇宙実践センター理事長
大江　昌嗣（まさつぐ）さん（70）

イベントの実施は、市民の皆さんに参加して頂けるか不安な時もありますが、天体観望で星を見つけたときなどに、参加者の目が輝く瞬間を見ることができる、それが喜びです。

市内には、かつて科学分野などに携わっていた多くの人たちがいます。この人材を集めて、さらに活動の深みを増していきたいですね。

盛岡大学文学部英語文化学科４年
インターンシップで参加
鈴木　由紀子さん（22）

宇宙遊学館の館内の案内や銀河フェスタの手伝いするため、大学のインターンシップで参加しました。全国からの来館者らと触れ合うことができ、新鮮で楽しかったですね。

宇宙遊学館は子どもから大人まで楽しんで学ぶことができる施設です。定期的にイベントも開催しているので、市民の皆さんにぜひ参加してほしいです。

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です

NPO伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。
情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎FAX㉒4200）までお問い合わせください。

●奥州志（おうしゅうし）オータムセミナー2011

日時：11月27日㊐
　午前10時～午後3時50分
場所：市民活動支援センターほか
内容：意識啓発・共感・仲間づくりの場を創造するため、市民が講師となる各種テーマのセミナーです（50講座開催予定）
対象：市民
問い合わせ・申込先：奥州志情報局（阿部☎090-9536-2937）
※0.4（オーシュウ）％支援事業認定事業

●♪子育てでいこう♪（子育てなんでもトーク）

日時：12月11日㊐午前10時半～正午
場所：市民活動支援センター
内容：子育ての悩み、楽しみをみんなで共有して解決する子育てなんでもトーク
対象：子育て中の親
※子どもの参加可。おやつも準備
参加料：無料（要申し込み）
問い合わせ・申込先：特定非営利活動法人奥州・いわてNPOネット（市民活動支援センター☎㉒4200）

●訪問介護員養成講座２級課程

期間：11月30日㊌～24年1月30日㊊（全21日間）
場所：市文化会館（Zホール）ほか
対象：県内に在住の人
定員：30人（先着順）
受講料：68,000円
問い合わせ・申込先：特定非営利活動法人人生いきいきクラブいわて（小野☎㊶6390）